

## 第1回 武庫川水系河川整備計画フォローアップ委員会 議事要旨

<日時> 平成23年9月14日 10:00~12:00  
<場所> 尼崎市女性センター・トレピエ 3階 トレピエホール  
<出席者> 別紙出席者名簿のとおり

### <内容>

#### 1 委員会の設置について

- (1) 事務局より、フォローアップ委員会の設置要綱(資料1-1)について報告した。また、委員会の運営要領(案)及び公開要領(案)(資料1-2、1-3)について説明し、了承された。
- (2) 設置要綱第4条第4項に基づく委員長職務代理者として、服部委員を指名した。
- (3) 運営要領第6条第2項に基づく議事録の署名人を、議長及び服部委員とした。
- (4) 委員意見と県の回答

フォローアップ委員会では、河川整備計画そのものの修正については議論しないと思う。PDCAサイクルにおけるPが河川整備計画でないのであれば、何を「P」とするのか。この委員会では、河川整備計画推進にあたってのアドバイスを行い、計画内容の修正は別の委員会で議論するという理解でよいか。

(県)ご意見のとおり、フォローアップ委員会は、河川整備計画を着実に推進するための意見をいただく場と位置づけている。PDCAサイクルについては、今後作成する20年間の全体工程計画を、例えば5年毎に区切って、その間にやるべきことやその間での成果指標などを設定し、それを回していくように考えている。

#### 2 武庫川水系河川整備計画の概要

- (1) 武庫川水系河川整備計画の概要について、ビデオ「武庫川水系河川整備計画～総合治水の実現に向けて～」を放映の後、事務局より武庫川水系河川整備基本方針及び河川整備計画、武庫川流域総合治水推進計画(資料2-1~2-4および参考資料)について説明を行った。
- (2) 委員意見と県の回答

河川整備計画において、青野ダムの活用は計画されているが、千苅ダム、川下川ダム等の他ダムの協力が得られていないような表現となっている。この経緯について説明して欲しい。

(県)青野ダムは当初から治水利用されており、治水容量を増やす等の対応が比較的容易であるが、他の千苅ダム等は利水専用のダムであることから、治水活用には管理者の同意が必要であり早期実現が難しい。

減災対策における認識向上には、子供への防災教育が効果的である。子供達が大人となり親となる10年後、20年後を見据え、子供を川に近づけるようなことを考えてほしい。

(県)そのような点も考慮し取り組んでいく。

三田ニュータウンの開発により計画された道場町(羽束川と武庫川との合流点)付近の河道掘削は、現段階で半分程度しか施工されていない。平成16年の台風23号での豪雨では床上浸水被害があったが、本日の資料に記載されていない。

(県)確認の上回答する。

丸山ダム下流の看板を見て、丸山ダムのサイレンは河川が増水すれば鳴る(サイレンが鳴るまでは河川は安全)と理解している人がいる。きちんと理解したいのでサイレンの吹鳴時間の基準について教えてほしい。

(県)確認の上回答する。

武庫川下流地域においては、津波への関心が高い。国において東南海・南海地震での津波規模の見直しも行われているが、武庫川においても津波対策について見直しを行うのか。  
(県) 現在、国の中央防災会議にて検討中であることから、基本的にはその結果をもって必要な対応を検討する。一方、県では、東日本大震災と同規模の地震(M9.0)による津波高として、暫定的に現行想定津波高の2倍を想定しており、その場合武庫川の堤防高以下となる事を計算上は確認している。

資料に河道掘削の断面例がいくつか記載されているが、これらは例であって完全に決まっているものではないという理解で良いか。

(県) その通り。

### 3 取組状況および今後の予定

(1) 事務局より、今年度の取組状況及び今後のスケジュールについて説明(資料3)。第2回委員会を年度末頃に開催する予定であることを報告した。

(2) 委員意見と県の回答

全体計画とは20年間の計画とすることか。

(県) その通り。20年間の工程計画を作成し、次回委員会には示したい。

フォローアップ委員会の内容を広く県民に情報発信出来るよう、ホームページ等でレポート的なものを作ることを提案する。

障害を持つ方々に対しても開かれた委員会であることを希望する。

P D C Aにおいては目標数値、成果指標等を出来る限り具体的な数値で示し、進捗状況をわかりやすく示すよう検討してほしい。

地元説明会の時に減災意識に対するアンケートや意見聴取を行い、フォローアップ委員会に報告してもらえれば、地元住民の減災意識の変化が評価できるのではないかと。

#### < 配布資料 >

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 座席表
- ・ 資料1 - 1 武庫川水系河川整備計画フォロー - アップ委員会設置要綱
- ・ 資料1 - 2 武庫川水系河川整備計画フォロー - アップ委員会運営要領(案)
- ・ 資料1 - 3 武庫川水系河川整備計画フォロー - アップ委員会公開要領(案)
- ・ 資料2 - 1 武庫川水系河川整備計画
- ・ 資料2 - 2 武庫川の川づくり(武庫川水系河川整備計画パンフレット)
- ・ 資料2 - 3 武庫川水系河川整備基本方針
- ・ 資料2 - 4 武庫川流域総合治水推進計画
- ・ 資料3 今年度の取組状況および今後の予定
- ・ [参考資料] 武庫川の川づくり(武庫川水系河川整備計画リ - フレット)

## 第1回 武庫川水系河川整備計画フォローアップ委員会 出席者名簿

## 【委員】

敬称略・順不同

区分	氏名	所属等	備考
学識 経験者	宇田川 真之	人と防災未来センター主任研究員	
	上甫木 昭春	大阪府立大学大学院教授	
	竹林 洋史	京都大学防災研究所准教授	
	服部 保	兵庫県立大学教授	
	道奥 康治	神戸大学大学院教授	
地域 住民等	関 恒雄	尼崎市都市整備局参与(土木担当)	
	垣崎 芳博	三田市都市整備部長	欠席
	室屋 俊一	西宮市鳴尾東コミュニティ協議会会長	
	市嶋 弘昭	篠山市古市地区自治会長会会長	
	大北 慶隆	公募	
	北添 慎吾	公募	

( は委員長)

【河川管理者（兵庫県）】

氏名	所属等	摘要
田中 稔	県土整備部 土木局長	
糟谷 昌俊	県土整備部 土木局 河川整備課長	欠席
宮永 和幸	県土整備部 土木局 河川整備課 課長補佐兼都市河川係長	
鈴木 茂伸	" 都市河川係 主査	
恒藤 博文	県土整備部 土木局 総合治水課 計画係長	
岸原みゆき	" 調査環境係	
徳村 秀一	神戸県民局 神戸土木事務所 河川課 主査	
雨宮 功	阪神南県民局 尼崎港管理事務所 副所長	
山田 弘	阪神北県民局 宝塚土木事務所 主幹兼河川砂防課長	
伊藤 晃彦	" 河川砂防課 課長補佐	
木田 泰稔	" 三田業務所 課長	
衣笠 秀隆	丹波県民局 丹波土木事務所 河川砂防課 主任	

【県関係部局（オブザーバー）】

氏名	所属等	摘要
谷口 和行	農政環境部 農林水産局 農村環境室 主査	
藪本 和法	県土整備部 まちづくり局 景観形成室長	

【流域市（オブザーバー）】

氏名	所属等	摘要
高田三四郎	神戸市 建設局 下水道河川部 河川課長（代理 計画調整係 長岡 俊明）	
梶井 巖夫	尼崎市 都市整備局 河港課長	
上野 史雄	西宮市 土木局 下水道部 下水計画グループ長（代理 係長 田中 淳司）	
西川 孝一	伊丹市 都市基盤部 都市基盤室 下水道課長（代理 副主幹 柳澤 守）	
足立 孝博	宝塚市 都市安全部 危機管理室 水政課長	
本荘 敏和	三田市 都市整備部 整備室 道路河川課長	欠席
赤井 毅彦	篠山市 まちづくり部 地域整備課長	

【事務局（兵庫県）】

氏名	所属等	摘要
笹倉 康司	県土整備部 土木局 武庫川総合治水室長	
脇舂 和生	県土整備部 土木局 総合治水課 副課長兼調整係長	
幾田正一郎	" 調整係 主任	
勝野 真	県土整備部 土木局 武庫川総合治水室 課長補佐兼武庫川企画係長	
三宅 広昭	" 武庫川企画係 主査	
首藤 充良	" "	
平塚 康嗣	" "	
杠 典英	阪神南県民局 西宮土木事務所長	
樋口 和夫	阪神南県民局 西宮土木事務所 武庫川対策室長	
當舎 良章	" 武庫川対策室 武庫川事業課長	
堀江 淳二	" " 武庫川事業課 課長補佐	